

総合戦略プラン改訂案に係るパブリックコメント結果

- 1 実施期間
 - ・平成 30 年 8 月 13 日（月）～9 月 12 日（水）

- 2 周知方法
 - ・町ホームページ
 - ・地方紙

- 3 募集資格
 - ・本町に在住、在勤、在学の方
 - ・本町に事務所または事業所をお持ちの方

- 4 公表場所
 - ・町ホームページ

- 5 提出方法

パブリックコメント記入用紙に、必要事項を記入の上、役場地域政策課へ持参、郵送、ファックス、電子メールのいずれかにより提出。

- 6 募集結果（1 名から 7 件）
 - ・参考 7 件

項番	ご 意 見	町の考え方／反映状況
1	<p>まちおこしとひとの活用・支援を併合した政策は効果が期待できます。</p> <p>まちおこしの基幹産業を観光としていますが、魅力ある「まち」をつくる視点として、まずそこに住むひとが「わがまち」として誇れる「まち」、いつまでも住みたい「まち」であることが外部の高い評価を得ることにつながります。住民が好きな「まち」、移住を喚起する「まち」を政策の理念としたらいかがでしょうか。</p>	<p>観光客が増加するだけでは、本町の人口減少を抑制することはできませんので、郷土愛を育むまちづくりを併せて推進してまいります。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">【参考】</p>
2	<p>【基本目標 1】</p> <p>基本目標 1. では施設物（「箱モノ」）の整備がありますが、新設の「箱もの」は費用対効果ならびに町の財政健全化に鑑みお勧めしかねます。むしろ既存施設の活性化（施設およびサービスの質の改善）が望ましいと思われれます。施設の劣化や「おもてなし」の心を忘れたサービスはまちのイメージを悪化させること必至です。</p>	<p>「地域の歴史と文化の探訪に向けた地域資源活用事業」や「万葉公園・周辺地区まちづくり事業」、「湯元通りの整備」など、地域資源を活かした事業の中で既存施設の活用も含め、</p>

	<p>湯河原の観光資源は何でしょうか？小さな町の利点である「街のたたずまい」と良質な温泉ではないでしょうか。私自身、湯河原に生まれ育って好きなところは「雨のそば降る街並み」です。施設への投資はこの観点から「まちの景観（街並み）」の整備であろうと思われます。キャッチ風に「ゆけむりとみどりところやすまるまちなたたずまい」とでもいえるのでしょうか。</p>	<p>引き続き、「ゆがわらしさ」を検討・推進してまいります。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">【参考】</p>
3	<p>【基本目標2】</p> <p>基本目標2. については、移住者奨励策を重要課題として取り組む必要があります。また、通りの空き家の有効利用は、上記景観整備との関連で早急に対策を講ずる必要があります。起業家奨励策と町内外の人材活用が求められます。</p>	<p>移住者や起業家へ対する奨励施策は、検討課題であると認識しております。</p> <p>空き家の有効活用につきましては、「空き家利活用に向けた専門業者との連携事業」を通じて、今後さらに検討してまいります。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">【参考】</p>
4	<p>【基本目標2】</p> <p>小田急乗り入れは効果が絶大であると思われます。また、JR 湯河原駅の「発車メロディー」の湯河原バージョンの検討がなされていると聞いていますが、低費用で町のイメージ定着化が可能なところ、早期実現が望まれます。</p>	<p>小田急線ロマンスカーの乗り入れにつきましては、近隣市町村と連携し、今後も神奈川県鉄道輸送力増強促進会議へ要望してまいります。</p> <p>「発車メロディー」の検討は、湯河原町に合った選曲を含め、今後の検討課題といたします。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">【参考】</p>
5	<p>【基本目標3】</p> <p>基本目標3. に関しては、産婦人科医の誘致が人口維持にとって重要課題であり、また実現が比較的容易であると思われます。待機児童の解消は将来を担う人材育成の観点から優先課題と思われます。</p>	<p>町では平成30年度より「マタニティ・サポート119事業」を開始し、安心して妊娠・出産できる体制が整備できましたが、引き続き JCHO 湯河原病院へ産</p>

		<p>婦人科の設置を要望してまいります。</p> <p>また、待機児童の解消につきましても、今後の利用者ニーズを分析しながら、年度当初だけでなく、年度途中においても「0（ゼロ）」となる取組を行ってまいります。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">【参考】</p>
6	<p>【基本目標 4】</p> <p>基本目標 4. については、わたし自身高齢者ですが、高齢者をなるべく自己責任で行動させるよう行政から不必要に過剰な支援をすることは控えるべきと考えます。たとえば、国民健康保険の健全な運営を考えた時、高齢者の必要以上の医療機関の利用は抑制されるべきです。そのためには「未病いやしの里」等の心のケアをイベント中心の事業ばかりでなく、日常的なカウンセリング事業等に拡充することが肝要です。</p>	<p>イベント事業だけではなく、町内の公園へ健康遊具を設置し、日常的に外出し運動できる環境の整備、また多世代が交流できる場づくりを推進し、高齢者の方が、その有する能力に応じて自立した日常生活を営むことができるよう「自助・共助・公助」の考えに基づく、高齢者自身の努力と地域の方々の理解・協力をいただきながら、個人の状況に応じた、きめ細やかな事業の実施に努めてまいります。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">【参考】</p>
7	<p>これら 4 目標は分野が多岐にわたりますが、組織縦割りの施策実行を排除して、組織横断的に実施するよう希望します。</p> <p>なお、これら事業の中には民間事業者の活用が企図されていますが、民間事業者の事業資金支援等インセンティブを喚起して、一層のスピード感ある推進をお勧めします。</p>	<p>湯河原町の観光のあり方を検討している「湯河原町観光立町推進会議」においては、農業、農林水産業等広義の観光関係団体の情報共有を図っておりますが、商工会等の諸団体とのより深い協働が必要と</p>

	<p>最後になりますが、観光を基幹産業とするまちおこしには、農業、水産加工業、不動産業等を含む広義の観光関連産業の民間事業者の経営能力および意欲の向上ならびに意識改革が不可欠です。事業者育成にも注力する必要があると考えます。</p>	<p>考えております。そこで、役所内の縦割り意識を薄めていくだけでなく、商工会、観光協会等の諸団体や町内外の民間事業者を巻き込み、イベントのつながりだけでなく、意識改革の醸成が必要であるとの認識を共有し、オールゆがわらの体制でまちづくりを行ってまいります。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">【参考】</p>
--	--	---